



・・・ 戦争へ道開く 安保法案に反対します ・・・

いま、国会で審議されている「安全保障関連法案」はこれまでの政府が認めてこなかった集団的自衛権の行使を憲法を変えずに解釈を変えて認めるものです。

7月15日委員会を強行採決、翌16日衆議院本会議にて可決され参議院へと審議が移ります。改憲推進の憲法学者でさえ「この法案は違憲であり、憲法改定せずに集団的自衛権は認められない」と述べるほどです。問題は、国民の理解がないまま強引に進められていることです。私たちの子や孫、保育園の保護者や子どもたちに直接かかわる重大な局面となっています。私たちは憲法が掲げる国際紛争や問題に対しては武力でなく話し合いの解決を望みます。保育園の子どもたちにも、トラブルは話し合いでの解決をおしえています。国際情勢が不安定な今こそ、世界に誇れる日本の憲法の精神を発揮するときと考えます。他国の戦争に巻き込まれることや戦争の当事者とならない、人を殺し殺されることのないように。

8月は戦争や平和について考える機会が多い月です。6日広島、9日長崎への原爆投下、15日終戦記念日など。

平和についてじっくり考える必要がある2015年夏です。



くぬぎ会ホームページを開設しました *写真や製作などを掲載する場合は確認を行いたいと思います。
 7月よりホームページを開設しました。内容は作成途中です。
 各保育園も7月末から見る事ができます。 順次、更改していきます。

- 社会福祉法人くぬぎ会 : <http://www.kunugi-kai.com>
- 吹田どんぐり保育園 : <http://www.kunugi-donguri.com>
- 佐井寺たんぽぽ保育園 : <http://www.kunugi-tanpopo.com>
- 双葉保育園 : <http://www.kunugi-hutaba.com>

今年も吹田市に要望書を提出します

今年度、新しい保育・子育ての制度となりはじめての要望となりました。各保育園で意見の集約や確認作業をしていただきありがとうございました。保育幼稚園課を通じて吹田市に提出いたします。吹田市からの回答とあわせて、吹田市との懇談を申し入れています。日程は後日お知らせいたします。

* 来年度入所申込が1ヶ月ほど早くなります

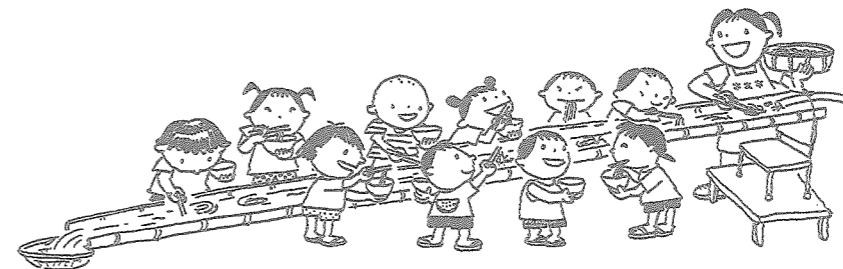
- 新規入所申込書・在園児継続関係書類配付開始 : 9月(予定)
- 新規入所申込書・在園児継続関係書類受付開始 : 10月(予定)
- くわしいことは、わかり次第お知らせいたします。

2015(平成27)年5月27日に理事会を開催いたしました。
 平成26年度事業活動報告及び決算報告などを討議・承認いたしました。
 下記に社会福祉法人くぬぎ会事業全体の平成26年度資金収支計算書を記載します。

2014(平成26)年度 社会福祉法人くぬぎ会決算報告(資金収支計算書より)

		事業全体 (合計)	経常収入に
経常活動	収入		
	保育事業収入	319,004,997	99.9%
	(内訳)運営費	244,772,240	76.7%
	私的契約利用料	1,393,880	0.4%
	補助金	65,685,197	20.6%
	その他の事業収入	7,153,680	
	借入金利息補助金	7,000	0.0%
	寄附金	128,000	0.0%
	受取利息配当金	30,623	0.0%
	事業収入計	319,170,620	100.0%
	支出		
人件費	233,068,920	73.0%	
事業費	35,424,891	11.1%	
事務費	28,114,237	8.8%	
借入金利息	743,700	0.2%	
事業支出計	297,351,748	93.2%	
事業活動資金収支差額	21,818,872	6.8%	
施設整備等			
収入			
設備整備補助金等	0	0.0%	
設備整備等収入計	0	0.0%	
支出			
借入金元金償還金	4,650,000	1.5%	
固定資産取得	831,450	0.3%	
設備整備等支出計	5,481,450	1.7%	
設備整備等資金収支差額	-5,481,450	-1.7%	
財務活動等			
収入			
収入	0	0.0%	
財務活動収入計	0	0.0%	
支出			
積立資産支出	14,260,800	4.5%	
財務活動等支出計	14,260,800	4.5%	
財務活動等資金収支差額計	-14,260,800	-4.5%	
当期資金収支差額合計	2,076,622	0.7%	
前期末支払資金残高	58,683,327		
当期末支払資金残高	60,759,949		

「経常収入に対する比率」は経常収入=100%としたそれぞれの比率
 決算報告書は法人ホームページ及び各保育園に備え付けてあります。



吹田メシアターにて、吹田市内 福祉・医療関係5法人 合同人権研修を行いました

7月2日、ジャーナリストの西谷文一氏を迎え、合同人権研修を行いました。今回は職員だけでなくひろく市民に参加していただく形式をとりました。会場いっぱいの参加者がありました。

内戦や戦争は軍人だけでなく子どもや弱い立場の人々に最大の被害がおよび、何年にも影響があること、そして戦争は多くの障がい者・児を生むことを多くの映像や資料を基に丁寧に説明をしていただきました。あらためて国際紛争は困難だけれども話し合いで解決することを望みます。暴力は憎しみを増やすだけです。

右に記に当日に会場で確認をした共同アピールを掲載いたします。

くぬぎ会3保育園5歳児交流を双葉保育園で行いました。

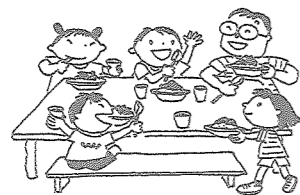
6月5日(金)午前中、双葉保育園においてくぬぎ会3保育園の5歳児があつまり交流をしました。

今年の参加は吹田どんぐり保育園こども9名、佐井寺たんぽぽ保育園こども14名、双葉保育園こども13名でした。

歌やリズム、ゲームなど普段と違う場所や雰囲気でもよっぴり緊張していたこどもたち。

でも給食を食べる頃には、他園のお友達ができたりなごんでいました。

今年も運動会後にもう一度5歳児交流を予定しています。お楽しみに！



共同アピール

わたしたちはあらゆる戦争行為に反対し、 権利としての社会保障・社会福祉の充実を求めます！

～憲法違反の「安保関連法案」は廃案にし、平和憲法を世界の宝に～

昨年7月1日に閣議決定された集団的自衛権行使容認を受けて、通常国会に「安保関連法案」が上程されました。政府は、国会の会期を9月27日まで大幅延長し、法案の成立を目指しています。

5月27日から始まった衆院安保法制特別委員会の審議では、安倍晋三首相や担当閣僚の答弁によって議論すればするほど破綻が露呈し、国民の理解が遠のいています。

6月4日衆院憲法審査会では、与党推薦の参考人も含めた憲法学者3氏全員が法案に「違憲」を宣告しました。

世論調査では、「朝日」(6月20日、21日)で、安保関連法案への賛否は、賛成29%に対して反対53%と反対が過半数を占め、安保関連法案をいまの国会で成立させる必要があるかについても、「必要はない」が65%を占め、前回調査の60%から増え、逆に、「必要がある」は17%となっています(前回23%)。

また、「『戦争する国』へすすむ安全保障関連法案に反対します」とのアピールをネット上に公表し、全国の学者・研究者に賛同を募ってきた「安全保障関連法案に反対する学者の会」は、6月15日、東京都内で行われた記者会見で、学問各分野の代表的な学者61人が呼びかけ人となり、賛同者は午後3時現在で、学者・研究者2678人、市民1819人にのぼったことを公表しました(6月23日午前9時時点で学者・研究者6,416人、市民9,510人に)。

大きく広がる世論を置き去りに、憲法違反と指摘されている「安保関連法案」を数の力で強行成立させるようなことになれば、日本の立憲主義・民主主義は破壊されます。

日本国憲法(前文)は、「政府の行為によって再び戦争の惨禍が起ることのないようにすることを決意」し、「全世界の国民が、ひとしく恐怖と欠乏から免れ、平和のうちに生存する権利を有することを確認する」として、自国民だけでなく「全世界の国民」を視野に入れ、平和を「単なる戦争のない状態」ではなく「恐怖と欠乏から免れている」状態だと位置付けています。

わたしたちは、国民の生命や暮らしを権利として保障する福祉・医療の仕事に関わる者として、人権がないがしろにし、福祉を必要とする社会的弱者を切り捨て、新たな障害のある人を生み出すことになるあらゆる戦争行為に反対し、憲法違反の「安保関連法案」の廃案を強く求めます。

そして、憲法9条を持つ国として、「全世界の国民が、ひとしく恐怖と欠乏から免れ、平和のうちに生存する権利」が保障されるための国際的な役割を積極的に果たすとともに、憲法25条で国民の権利と位置付けている「健康で文化的な最低限度の生活」をすべての国民に保障するための公的責任による「社会保障・社会福祉」の充実を求めます。

以上

2015年7月2日

医療法人共愛会
社会福祉法人こばと会
社会福祉法人くぬぎ会
社会福祉法人さつき福祉会
社会福祉法人ヒューマン福祉会

「合同人権研修会」参加者一同